



地連スポーツ大会

3チームとも決勝戦進出ならず

丹波・宝塚・宍粟いずれも第3位に

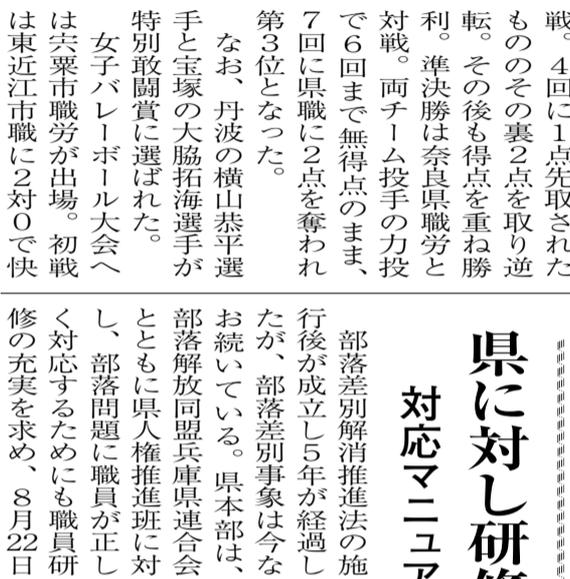
近畿地連スポーツ大会が8月1、2日にかけて、和歌山市内で開催され、野球大会へは兵庫県本部代表の丹波市職労と、前回地連大

会優勝チームの宝塚市職労が出場した。初戦で丹波は白浜町職と対戦。1点を先取された丹波は5回に一挙5点をあげ

逆転に成功した。準決勝では寝屋川市職と対戦。相手投手の好投でチャンスを作れず第3位となった。

宝塚は福知山市職と対戦。4回に1点先取されたもののその裏2点を取り逆転。その後も得点を重ね勝利。準決勝は奈良県職と対戦。両チーム投手の力投で6回まで無得点のまま、7回に県職に2点を奪われ第3位となった。

なお、丹波の横山恭平選手と宝塚の大脇拓海選手が特別敢闘賞に選ばれた。女子バレーボール大会へは宍粟市職が出場。初戦は東近江市職に2対0で快



勝。準決勝では奈良県職と対戦。宍粟は第1セットを先取したものの、残り2セットを奈良に奪われ、2対1のセットカウントで惜

核兵器廃絶・平和な世界をめざす 高校生の積極的な活動に支援を



高校生平和大使は1998年から始まった核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざした全国的な活動。兵庫では8月27日に神戸市内で第25代高校生平和大使・サポーター活動報告会、平和大使を支援する兵庫県実行委員会総会が開催された。25代平和大使(兵庫)の長富日向さんを中心に、6月からの活動についての報告があった。「各県からの活動報告に学び、被爆体験者から話が聞ける最後の世代として、私たちは平和のバトンを落としてはいけない」と述べた。

県に対し研修充実求める 対応マニュアルの整備を約束

部落差別解消推進法の施行後が成立し5年が経過したが、部落差別事象は今なお続いている。県本部は、部落解放同盟兵庫県連合会とともに県人権推進班に対し、部落問題に職員が正しく対応するためにも職員研修の充実を求め、8月22日



要請を行った。県は「ネット上に間違った情報も多く見られる、特に非正規職員は雇用期間が短く、経験も積みにくい。そのため対応マニュアルが必要だと考える。県として

尾西書記長に聞く 新たな取り組みにチャレンジ 単組運動が起点

県本部は10月1日に第73回定期大会を開く。定期大会に向けて尾西亮太郎書記長に来年度の取り組みポイントを聞いた。

が、来年度、県本部はWEBページのリニューアルやSNSの活用など新たな取り組みにチャレンジしていきたい。これにより各組合員へ細かな情報提供できる体制を構築すると共に、単組間の情報共有を密にし、人員確保や賃金闘争など各種統一闘争や独自課題など単

自治体統一選挙や国政選挙など政治闘争への取り組みのさらなる強化が必要。各単組の運動活性化のために、大会ではそれぞれの単組の取り組みを持ち寄り、方針の豊富化をお願いしたい。

全国のたたかいに学ぶ 課題は山積だがあきらめない

第23回青年女性中央大交流集會を7月29日、31日に流集會を7月29日、31日に感染症対策のため、参加人数を制限し東京で開催。職場の課題や反戦・平和の取り組み等を議論した。基調講演では斎藤幸平准教授(東京大学)から「SDGsは大衆のアヘン」とし、「無限の経済成長を求め資本主義にブレーキをかけ

ない限り、気候変動は止まらない。SDGsはそこから人々の目をそらさせる」と述べた。2日目には職種ごとの分散会、最終日は分散会報告、全体集約などがおこなわれた。

兵庫の参加者からは「黙っていても何も変わらない。我々はたたかう事をやめてはいけないことを学んだ」と感想を述べた。

自治労兵庫県本部からのお知らせ

感染拡大防止に向けて引き続きの取り組みを 各単組・職場での新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けたご尽力に敬意を表します。罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。 さて、全労済では「新型コロナウイルス感染症に関するご案内」を公表し、新型コロナ感染症が入院共済金の対象となる「疾病」に該当することなどを明らかにしており、「じちろう団体生命共済」にも適用されます。給付請求などご不明な点がございましたら、所属組合までお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症に関するご案内

1. 入院共済金の取り扱いについて 新型コロナウイルス感染症は、入院共済金の対象となる「疾病」に該当します。検査による結果が、陽性・陰性にかかわらず、医師の指示で医療機関に入院された場合は、病気による入院共済金のお支払いの対象になります。 また、新型コロナウイルス検査の結果が陽性で、入院による治療が必要であったにもかかわらず、医療機関の事情により、臨時施設(病院と同等とみなせる施設)に入所もしくは自宅にて療養し、医師の治療を受けている場合等も、医師の証明書等をご提出いただくことでお支払い対象になります。 (こくみん共済(全労済)ホームページより)



混雑した場所など感染リスクの高い場所への外出は控えましょう!